



足立区議会だより

発行/足立区議会 ☎(3880)5996(直通)
http://www.gikai-adachi.jp No. 250

第 1 回 定例会

再生紙を使用しています



足立清掃工場
足立区議会写真部 せぬま 剛 撮影

区長提出議案

平成24年度足立区一般会計予算 を可決
(歳入歳出予算の総額をそれぞれ2436億円とするもの)

区長提出議案

**東武伊勢崎線(竹ノ塚駅付近)
連続立体交差事業に関する施行協定** を可決

議員提出議案

**「まごころの健康を守り推進する基本
法(仮称)」の法制化を求める意見書** を可決

会議のあらまし

第1回定例会は、2月22日から3月27日までの35日間で開会しました。
今定例会では、平成24年度足立区一般会計予算案等、4会計予算について、原案のとおり可決しました。その他の区長提出議案47件については、すべて原案のとおり可決しました。
また、議員提出議案5件中、2件を全会一致で可決、1件を賛成多数で可決、2件を否決しました。請願・陳情については、採択2件、不採択4件とし、他24件を継続審査としました。
このほか、教育委員会委員の任命に同意、監査委員の選任に同意しました。

議員(候補者等を含む。)からの寄附は、公職選挙法により、議員資格剥奪の罰則をもつて禁止されています。
区民の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

主な内容

- 区政を問う(各党派代表・一般質問)……………2面
- 議決結果……………5面
- みなさんからの
請願・陳情……………6面
- 永年在職議員を表彰……………6面
- 意見の分かれた案件……………6面
- 委員会活動……………6面
- 教育委員会委員の任命に同意……………6面
- 監査委員の選任に同意……………6面
- 足立区議会情報公開制度の実施状況……………6面
- 予算特別委員会の討論(要旨)……………7面
- 平成24年度各会計予算額のグラフ……………8面
- 予算特別委員会を設置……………8面
- 今定例会で可決した決議・意見書(要旨)……………8面

問う

代表・一般質問を平成24年2月22日、23日、24日に開会した第1回定例会本会議で行いました。

代表・一般質問

議案の審議に先立ち、各党派を代表する11名の議員が、区政全般について質問を行い、区政執行にあたる区長をはじめ執行機関の考えを尋ねました。以下、その一部を掲載します。

足立区議会自由民主党

安全・安心 住みやすい

明日の足立に向けて

自由民主党 加藤和明 議員



今後の区政運営を区長に問う

【問】「明日のために」時代の变化に挑む!と銘打った平成24年度予算案に込めた思いと、今後の区政運営への決意を伺う。

【区長】前例にとらわれず、一歩も二歩も踏み込んで施策の優先度を吟味し、歳入・歳出の根本的改革に着手し、将来も持続可能な足立区を構築しなければならぬ。変化に的確に対応するにあたり、首長としてリーダーシップを発揮していくことは当然のことだが、説明責任を果たしつつ、着実に進めていく。中期財政計画改訂の予定は

【政策経営】将来も持続可能な自治体であり続けるため、歳入・歳出の見込みを精査し、基金と起債のバランスを取りながら、限られた資源の適正配分を図っていく。改訂時期は平成24年度とし、平成25年度を初年度とする計画をしたい。

地域防災計画の見直しに専門的知見を採り入れよ

【問】地域防災計画の改訂には、津波等の新たな事象への想定と対策のため、科学的な知識等の専門性が要求される。知見に基づく助言や支援をどのように確

保し、進めていくのか。

また、その計画の実効性を確保するには町会・自治会等との防災訓練が重要だが、今後、どのように充実させていくのか。

【危機管理】想定外を排除する計画を目指すため、科学的な知見や先進事例を区の対策に反映させる必要から、防災分野の知識・技能を有する専門家と連携・協働し、全力で進めていく。また、防災訓練については、昨年に続き避難所を核とした訓練を予定しており、共助を中心とした訓練を加える等、さらに実践的なものとしていく。



目標の見直しで体感治安向上を

【問】平成23年は刑法犯認知件数1万件未満を目標に加え、治安再生事業を推進したが、目標を達成できなかった。今後どのような取り組みをしていくのか。

また、体感治安を良くするためにも、現在の目標設定を見直すべきではないか。

間青パトの増車や、街頭犯罪抑止のため駅周辺等への防犯カメラ設置拡充等、実効性ある対策を実行していく。

また、刑法犯認知件数減少と1万件未満の目標にこだわりつつ、犯罪発生件数減少の推移等を積極的に周知し、体感治安そのものの改善を第一に、取り組みを強化していく。

アレフを解散・撤退へ追い込め

【問】アレフに対する観察処分が更新が決定された中で、解散・撤退に追い込むための手立てをどのように考えているのか。

【区長】町会・自治会連合会と地元対策協議会と一体になって闘っていく。具体的には、新たな法整備を国に求め、また、オウム真理教問題を風化させないため、体質等の実態を内外に広く伝え続けていく。加えて、協議会による活発な活動をさらに支援すべく、活動助成を増額し、緊密な連絡体制を続けていく。

国体にあわせ綾瀬駅周辺整備を

【問】東京国体開催にあわせて綾瀬駅利用者の安全性、利便性が向上するよう、駅周辺のユニバーサルデザイン化の整備を進めるべきと思うがどうか。

【都市建設】綾瀬駅周辺地区は本年1月に東京都ユニバーサルデザイン福祉のまちづくり事業地区の指定を受けた。今後、国体開催までに、歩道のバリアフリー化等の整備を行う。

また、駅下りホームのエレベーターは、東京メトロより、国体開催までに利用可能となるよう取り組み予定と説明があった。東京電機大学を迎える北千住駅東口まちづくりの見直しは

【問】北千住駅東口まちづくりの要とも言える東京電機大学が4月に開学する。通行の安全確保の面からも区画街路第13号線拡幅整備を早急に進めるべきだが、現状と今後の見直しを伺う。

また、まちの活気と賑わい創出の核となる商店街の景観への配慮が不可欠と思うがどうか。



【市街地】区画街路第13号線の整備は、平成27年度完成を目前に、きめ細かな生活再建築を示しながら平成24年度の事業認可に向け、関係権利者全員の合意を目指していく。

また、今後は、大学開設と整備された駅前広場に対応する新たな商店街のあり方と景観を、地域の商店街の方々と十分に協議し、施策を検討していく。

【問】「足立はばたき塾」のような事業充実も含め、今後の施策展開等、区教委の基本的な考え方を伺う。

【教委長】基礎学力定着等の学力下支え施策の徹底と経済的格差が学力格差につながるような社会保障的施策の組み合わせが不可欠と考える。施策の見直しや学校経営機能の強化、地域や大学等とのさらなる連携に努め、学校を中心に、家庭や地域等の力を結集し、教育の総合力強化を図っていく。

生活保護の適正受給を 国・郷土を愛せる教科書を

自由民主党 白石正輝 議員



生活保護の現状を問う

【問】「派遣村」以降、稼働年齢層の生活保護受給者が急増していると言われているが、区の現状はどうか。

また、生活保護の不正受給が後を絶たない。より厳正に調査すべきと思うがどうか。

【福祉】派遣村ができた平成20年末から、世帯・人員ともに約30%増加した。厳しい経済状況から稼働収入減少等の理由により大幅に増加し、特に中高年齢層の増加が顕著となっている。また、不正受給防止のため、ケースワーカーによる訪問調査の強化とともに民生・児童委員等との情報交換をさらに密にしていく。加えて全受給世帯の課税状況の調査充実や、極めて悪質なケースには警察署と連携し、不正防止を徹底していく。

【問】①歴史・公民の教科書は、教育を基準に教科書を選択せよ

【問】①歴史・公民の教科書は、教育を基準に教科書を選択せよ



地域力の向上と 乳幼児教育について

自由民主党 渡辺ひであき 議員



地域の団体との連携強化を図れ

【問】地域コミュニティの力を高めるため、地元の各種団体や企業との関係充実が欠かせない。特に、災害時は様々な役割を担っていただなくてはならない。

防災協定等を見直しはどの程度進んでいるのか。

【危機管理】これまでに、食糧や物資供給等に関し、40以上の団体や企業等と協定を締結してきた。新たに、帝京科学大学や

代表・一般質問

区政を

本会議の録画中継を

区議会ホームページでご覧いただけます
<http://www.gikai-adachi.jp>

平成24年度予算編成方針を問う
【問】 予算編成の「スローガン」時代の変化に挑むとは、どう変化に対応し挑戦をしていくのか。また、予算編成の力点をどこに置き、区民への理解をどのように得ていくのか伺う。

【区長】 前例踏襲をせず、真に必要なサービスを見極め、厳しい状況を乗り切る考えである。また、あらゆる機会を、区の状況を区民に伝えることはもちろん、今後も何のための見直し・削減かを可能な限り可視化し、伝えることも重要と考える。

被災者支援に万全を尽くせ

【問】 東京都版被災者支援システム導入の進捗状況を伺う。

また、首都直下地震で区避難所の収容は5万6千人の不足との報道だが、現況と今後を伺う。

【危機管理】 遅くとも平成25年度導入に向け、準備していく。

また、避難所収容人数の不足は最大で約4万3千人を想定している。現時点で発生した場合、避難スペースに指定していない教室等を臨時に使用し、不足分に対応する予定である。当面は、第一次避難所128箇所を追加で受け入れ、不足分を解消していく。今後、減災対策で避難者数の

【問】 区内共通プレミアム商品券を、今後も継続すべきと思うかどうか。

また、区制80周年を記念し何か工夫すべきと思うが伺う。

【産業経済】 区内の景気動向を見極め、実施を検討していく。

また、区制80周年Wチャンスと称し、プレミアム商品券を購入された方に、さらに商品券が当たる抽選を実施することで、早期完売を目指していく。

【問】 UR花畑団地建て替えに伴う5haの余剰地活用について、区民の意見を尊重し、URにどのように要望していくのか。

また、F街区の商業関連施設の進捗はどうか。地域と共存す

【問】 補助第258号線の早期開通が望まれるが、六町地区区画整理事業をどう考えているのか。熱意ある答弁を求め。

【都市建設】 橋が完成した今、補助第258号線の早期整備はますます重要な課題になったと考え、暫定整備を含めた早期整備を何としても実現すべく、都事業での整備を前提に区が支援する方向で、具体的な手法等を今後とも粘り強く六町地区まちづくり都区連絡会で協議していく。

【問】 1月の子ども施策調査特別委員会で、3歳児以降の定員不足の地域には、認可保育園を含め整備するとの答弁だったが、具体的な取り組みについて伺う。

【教育長】 千住・梅田地域では、今後、全年齢で保育需要の増加が見込まれることから、平成25年度を目途に、民設民営による認可保育園の整備を進めていく。

【問】 公開講座メニューの充実を大学側にお願ひし、多くの区民がキャンパスを利用できるように広く周知する等、支援を行っていくべきと思うが伺う。

また、夜間における大学・区民の人材を活用したシニア区民講座への協力について、要請していくべきと思うがどうか。

【政策経営】 2月の五大学実務者会議で、各大学の平成24年度区民向け公開講座の情報提供を依頼した。集約した情報は、ホームページ等で周知していく。今後、公開講座の充実を図るべく、今夏に開催予定の五大学学長会議のテーマの一つとして、各大学にお願ひしていく。

また、多くのシニア層が区内大学で講座を受講できることは、大学の地域資源を活用した生涯学習の推進という意味では、大変意義があると思われる。夏に開催予定の五大学学長会

【問】 コンビニでの証明書交付促進へ

【問】 コンビニでの証明書交付時に必要な住基カードについて、子育て世代や新成人等、対象者を絞り込む等し、普及に努めるべきと考えるがどうか。

【区民】 住基カードの普及、さらにはコンビニエンス交付サ

新年度予算編成について 防災と都市整備について

公明党 長井 まさのり 議員



足立区議会公明党

【問】 区は「あだち5歳児プログラム」の作成等、幼児教育の充実に向けている。このことは幼児教育の質を左右するカリ



特別養護老人ホーム等を避難所とする協定の調整を行っている。さらに、鉄道事業者等、駅周辺の事業者と連携を図っている。今後も様々な機会を捉え、一層の関係強化を図っていく。

【子ども】 平成23年度より、公立保育園の5歳児担任が月1回一堂に会し、プログラムに掲げる「育てる子どもの姿」に向け、各園での実践を踏まえ検討してきた。この成果をプログラムに反映させるとともに、小学校のスタートカリキュラムとつなげて取り組みを進めている。

また、保育者の専門性向上については、個々の子どもの発達課題を解決するための支援にあたり、小学校への見通しを持つた上で対応する等、発達と学びの連続性を意識して日々の保育に努めている。

【総務】 増設について、佐野地域で実地調査を行った。今後、施設使用について関係者と調整を行い、来年の都議会議員選挙から開設できるよう準備を進めていく。他地域については、駅近くの公共施設を中心に、費用対効果等を見ながら検討する。



減を図る一方、東京電機大学等との協定締結により、可能な限り早急に避難所を増やしていく。身近で投票できる環境の整備を

【問】 期日前投票所の拡大とともに、かねてから開設を要望している区北東地域の進捗を伺う。

る施設を誘致できるように、URに働きかけるべきと思うが伺う。

【都市建設】 現時点で詳細な活用案の策定に至っていない。

今後、花畑団地周辺地区まちづくり協議会を通じ、周辺住民の意見を踏まえつつ案を検討し、地区まちづくり計画に反映した上でURに要望していく。

また、F街区については現在、商業施設の誘致にあたり公募条件等、URと協議している。

今後、地区まちづくり計画の整備目標を踏まえ、生活利便性の向上や新たな賑わい創出に資する施設を誘致できるように、URに働きかけていく。

六町加平橋開通後の区画整理事業を問う

【問】 補助第258号線の早期開通が望まれるが、六町地区区画整理事業をどう考えているのか。熱意ある答弁を求め。

【都市建設】 橋が完成した今、補助第258号線の早期整備はますます重要な課題になったと考え、暫定整備を含めた早期整備を何としても実現すべく、都事業での整備を前提に区が支援する方向で、具体的な手法等を今後とも粘り強く六町地区まちづくり都区連絡会で協議していく。

【問】 1月の子ども施策調査特別委員会で、3歳児以降の定員不足の地域には、認可保育園を含め整備するとの答弁だったが、具体的な取り組みについて伺う。

【教育長】 千住・梅田地域では、今後、全年齢で保育需要の増加が見込まれることから、平成25年度を目途に、民設民営による認可保育園の整備を進めていく。

【問】 公開講座メニューの充実を大学側にお願ひし、多くの区民がキャンパスを利用できるように広く周知する等、支援を行っていくべきと思うが伺う。

また、夜間における大学・区民の人材を活用したシニア区民講座への協力について、要請していくべきと思うがどうか。

【政策経営】 2月の五大学実務者会議で、各大学の平成24年度区民向け公開講座の情報提供を依頼した。集約した情報は、ホームページ等で周知していく。今後、公開講座の充実を図るべく、今夏に開催予定の五大学学長会議のテーマの一つとして、各大学にお願ひしていく。

また、多くのシニア層が区内大学で講座を受講できることは、大学の地域資源を活用した生涯学習の推進という意味では、大変意義があると思われる。夏に開催予定の五大学学長会

【問】 コンビニでの証明書交付促進へ

【問】 コンビニでの証明書交付時に必要な住基カードについて、子育て世代や新成人等、対象者を絞り込む等し、普及に努めるべきと考えるがどうか。

【区民】 住基カードの普及、さらにはコンビニエンス交付サ

【問】 「介護度が重度の単身高齢者」等の条件を付け、見守りを兼ねたごみの戸別収集等を検討すべきと思うが伺う。

【環境】 孤立・孤独死等の解決手段の一つとして清掃事業を拡充し、特に自ら集積所へのごみ出しが困難な高齢者への支援や、その際の安全確認等、大変重要な視点であると思われる。今後、速やかに事業化に向けた検討を行っていく。



公明党 つすい 浩一 議員



区民サービスの向上と 西部地域のまちづくり

公明党 たがた 直昭 議員



ビスの推進を目指し、現在検討を進めている。住基カード手数料の無料化等、先行自治体で実施された施策の費用対効果の検証や、外国人住民が多い当区の状態も踏まえ、実施すべき施策の最適化を行っている。

日暮里・舎人ライナー駅西側の区営自転車駐車場の早期整備を



【問】舎人公園駅下や谷在家駅、

西新井大師西駅等の西側の状況はどうか、今後の整備計画とあわせて伺う。

【都市建設】 谷在家駅西及び西

新井大師西駅の自転車駐車場については、平成24年4月の開設に向け整備を進めている。舎人公園駅下については、平成24年度秋頃の開設を予定している。今後は、扇大橋駅東のキャンセル待ち解消のため、平成24年度予算案に増設工事の経費を計上している。

また、現在実施しているライナー駅周辺の自転車等駐車場状況実態調査の結果を基に、既存施設の縮小・増設も含め、東西バランスの是正を図っていく。

日本共産党足立区議団

震災と原発事故の教訓生かして命とくらしを守る区政へ

日本共産党 鈴木 けんいち 議員



消費税増税は財政再建にも社会保障の充実にもならない

【問】政府は消費税を10%に引き上げる方針を決めた。1997年の5%引き上げ時は、回復傾向の景気が一度に冷え込み、

国と地方の借金も膨らみ財政破綻を招いた。消費税増税は、財政再建にも社会保障の充実にもならないと思うが区長はどうか。

【区長】「持続可能な社会」の構築には、社会保障と税の一体改革は不可欠であり、一定程度の負担はやむを得ないと考える。

【問】原発をなくし自然エネルギーを推進する立場から、温室



【環境】 中長期目標における目標数値の設定は、慎重な取り扱いが望ましいと考える。

また、活用できる資源に乏しく、電力需要が膨大な当区でのエネルギー自給は、今のところ不可能と考える。

【生きがい奨励金】の増額を

【問】高齢者は相次ぐ年金削減や保険料値上げと、収入減・負担増の連続である。そのうえ生きがい奨励金の削減は、まさに「生きがいの削減」である。時代の変化に即して見直すというのなら、増額すべきではないか。

【地域】 減額により生じる財源は、大人用肺炎球菌ワクチン接種助成に充てることを予定する。

【問】区は介護保険料を基準月額で1千円余りも値上げする方向を示しているが、度重なる引き上げで高齢者の負担は限界を超えており値上げすべきでない。

わが党は、給付総額の過大な見直しを求め、公費負担を増やせば値上げはストップできる修正案を提出しているが見解を伺う。

大震災を教訓に命を守り人になやさしく災害に強い街に

日本共産党 針谷 みきお 議員



【想定外なし】の地域防災計画を策定せよ

【問】地域防災計画の見直しにあたり、以下の三点を指摘する。

- ①地震による災害を未然に防ぎ、被害を最小限に抑えるという「予防」重視の立場をとること。
- ②自己責任原則ではなく、「自助・共助・公助」を一体として捉え、計画づくりに生かすこと。
- ③区の地域特性を踏まえ、あらゆる被害を想定すべき。

【福祉】 安定的な制度運営を考えると、据え置きは不可能であり、保険料の上昇はやむを得ないものと考ええる。

認可保育園の計画的な増設を!

【問】①待機児童の多い千住・梅田・綾瀬地域に認可保育園を増設すべきと思うがどうか。

また、2013年度以降の認可保育園増設計画を立てて取り組むべきか。

【教育長】 ①平成25年度に向け、千住・梅田地域に認可保育園を民設民営により整備していく。綾瀬地域は、大規模開発に準じた対応を考える。

また、今後は、毎年、地域別の保育需要をよりきめ細かく精査して整備方針を改定していく。

【子ども】 ②当区での基準緩和適用は基本的に考えていない。

【危機管理】 ①重視していく。

②今後も「自助・共助・公助」、三位一体で対策を進めていく。

③「想定外」を極力排除しうる計画を目指していく。

【問】日暮里・舎人ライナー及び鉄道高架化関連事業の改善を求める



負担に戻れば区負担は45億円減る。今後、都に新たな費用負担を求めるべきか。

足立区議会民主党

改革を実行するには

大胆さに欠けるがどうか

民主党 鈴木 あきら 議員

来年度予算編成に対する区長の考えを問う

【問】平成24年度予算は、「時代の変化に挑む」と言うには大胆さに欠けると思うがどうか。

他に、区長が大胆さをアピールするものは何か。

【区長】 大胆に改革を実行すると、それに伴う反動、また痛みも大きいものがあると考ええる。改革自体がそれによって挫折・頓挫することも考えられるため、大胆に行くべき時は行く必要もあると思うが、敢えて堅実に、ことさらに奇をてらわず着実に歩みを進めていくことこそ大切と考える。

子育て環境は住まいを選ぶ際の重要な要素である

【問】子育てにやさしく、一定の条件を満たした場合、区が「子育て支援マンション」として認定する制度を導入してはどうか。

また、大規模集合住宅の建築

また、補助第261号線の赤山街道以西の整備は、高架化事業とは切り離すべきではないか。

【都市建設】 ①当面、今後の推移を見守っていきたく考える。

【鉄道立体】 ②他区の動向を注視しながら、状況に変化があれば必要な働きかけを行っていく。

また、補助第261号線は、事業の完成にあわせて整備できよう、都へ要望していく。



スペースを保育施設に充てることのできるよう、保育需要が充足するか確認できるまで、販売を保留してもらうよう協議してはどうか。

足立区議会みんなの党

財源56.8%での自立した経営とは?

女川町ガレキ処理

みんなの党 浅古 みつひさ 議員

限られた財源の中でどのように区の権限と責任をはたすのか

【問】自主財源が16.3%、財政調整交付金を加えても56.8%しかない中で、どのように自らの意思で区の権限と責任をはたしていくのか。責任をもって「自立した経営」を進めていかなければならない使命を担っていくのか。

【区長】 必要な施策の展開には、自ら財源を確保することが必要である。そのためには、事業を一から見直し、時には痛みを伴

う改革を進めると同時に、歳入面の改革も不可欠と考える。

ただ、一番重要なのは、痛みを伴う改革の先に、自治体の意思がどこにあるかを明らかにし、区民等のご理解やご協力を得ることにあるかと思う。

被災地のガレキ焼却受け入れには万全の体制を整えよ

【問】ガレキ焼却後のスラグ搬送トラックは街中を通ることになるが、事故等、不測の事態への対応はどう考えているのか。

【答】 スラグは焼却炉で200℃以上の高温で加熱し、溶融・固化して人工砂の製造に



【市街地】②地域住民の意向や規定づくりの検討を進めていく。

【危機管理】①「災害時要援護者避難支援プラン」には、前回は上回る数を見込んでいた。

また、②北千住駅東口エレベーター設置の見直しはどうか。

また、個人情報提供には慎重な対応が求められるため、運用規定づくりの検討を進めていく。

無 派



【環境】スラッグ等は、密閉型の車両で運搬し、薬剤で固めたまま積載することから外部に飛散

する恐れはないとのことである。また、比較的放射能濃度の高い飛灰は、薬剤で固化した上でシートで覆う措置も追加的に行うとともに、天蓋部分のロック機能付加やパッキン等を強化した水密性の高い車両も順次導入し、安全性向上に努めていく。



無 会 派 市 川 おさと 議員

大災害時に障がい者を守れ カルトから若者を守れ

【問】①当区の災害時要援護者名簿作成には本人同意が必要だが、3年前は3割ほどしか同意がなかった。現状の作成率及び本人同意を要しない個人情報外部提供の検討結果も伺う。

また、②区内5大学の学生がカルトの勧誘被害に遭わないためのアプローチの方法を伺う。

【問】①先の決算特別委員会で、学校教育において発達段階に応じて伝えていく必要性を述べたが、検討結果はどうか。

【教育指導】①適切に善悪の判断ができるような能力の育成を図る等の観点から、発達段階に応じた指導を進めていく。

Table with 2 columns: 補正予算 (第4号) and 予 算. Rows include 平成23年度足立区一般会計補正予算, 平成24年度足立区一般会計予算, 平成24年度足立区国民健康保険特別会計予算, 平成24年度足立区介護保険特別会計予算, 平成24年度足立区後期高齢者医療特別会計予算.

第1回定例会 議決結果

区長提出議案

可決したもの

予 算

平成24年度足立区一般会計予算

平成24年度足立区国民健康保険特別会計予算

平成24年度足立区介護保険特別会計予算

平成24年度足立区後期高齢者医療特別会計予算

補正予算

平成23年度足立区一般会計補正予算(第4号)

平成23年度足立区国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

平成23年度足立区介護保険特別会計補正予算(第2号)

平成23年度足立区後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

平成23年度足立区立学童保育室条例の一部を改正する条例

足立区職員定数条例の一部を改正する条例

足立区特別区税条例の一部を改正する条例

足立区西新井文化ホール条例の一部を改正する条例

足立区西新井文化ホールを指定管理者に管理させるに当たり、規定を整備するもの

千円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ393億4千887万6千円とするもの

平成23年度足立区後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) 歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ8千453万4千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ106億7千503万1千円とするもの

足立区組織条例の一部を改正する条例 組織改正に伴い、部の分掌事務を改めるもの

足立区職員定数条例の一部を改正する条例 (日本共産党足立区議団より反対の立場から討論あり)

足立区特別区税条例の一部を改正する条例 地方税法等の改正に伴い、規定を整備するもの

足立区西新井文化ホール条例の一部を改正する条例 西新井文化ホールを指定管理者に管理させるに当たり、規定を整備するもの

足立区生きがい奨励金支給に関する条例の一部を改正する条例 生きがい奨励金の支給額を改定するもの

足立区立学童保育室条例の一部を改正する条例 (日本共産党足立区議団より反対の立場から討論あり)

児童福祉法の改正に伴い、規定を整備するもの

足立区福祉施設指定管理者等選定審査会条例の一部を改正する条例

足立区高齢者在宅サービスセンター条例の一部を改正する条例

以上2議案について、介護保険法等の改正に伴い、規定を整備するもの

足立区障がい福祉センター条例の一部を改正する条例

足立区障がい者通所支援施設条例の一部を改正する条例

足立区身体障がい者大谷田ホーム条例の一部を改正する条例

足立区知的障がい者大谷田グループホーム条例の一部を改正する条例

足立区知的障がい者自立支援センター条例の一部を改正する条例

以上5議案について、障害者自立支援法の改正に伴い、規定を整備するもの

足立区診療所における薬剤師の配置基準に関する条例

診療所における薬剤師の配置基準を定めるもの

足立区旅館業法施行条例

旅館業法の改正に伴い、宿泊者の衛生に必要な措置の基準等について定めるもの

足立区公衆浴場法施行条例

公衆浴場法の改正に伴い、設置場所の配置の基準、衛生等の措置の基準等について定めるもの

足立区理容師法施行条例

理容師法の改正に伴い、衛生上必要な措置等を定めるもの

足立区美容師法施行条例

美容師法の改正に伴い、衛生上必要な措置等を定めるもの

足立区クリーニング業法施行条例

クリーニング業法の改正に伴い、営業者の講ずべき措置を定めるもの

足立区食品衛生検査施設の設備及び職員の配置の基準に関する条例

食品衛生法施行令の改正に伴い、食品衛生検査施設の基準を定めるもの

足立区墓地等の経営許可等に関する条例

墓地、埋葬等に関する法律の改正に伴い、墓地等の経営の許可の手續等を定めるもの

足立区興行場法施行条例の一部を改正する条例

興行場法の改正に伴い、興行場の設置の場所、構造設備等の基準等を定めるもの

足立区花畑五丁目地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例

建築基準法の規定に基づく地区計画を実施するもの

足立区営住宅条例の一部を改正する条例

公営住宅法の改正に伴い、規定を整備するもの

足立区自転車等の駐車秩序及び自転車等駐車場の整備に関する条例の一部を改正する条例

足立区民営自転車等駐車場の補助金交付審査委員会を設置するもの

足立区における保育の実施等に関する条例の一部を改正する条例

保育所の設置及び廃止を行うとともに、規定を整備するもの

足立区議会の議決に付すべき契約および財産の取得または処分に関する条例の一部を改正する条例

議会の議決に付すべき契約の範囲を明確にするもの

足立区国民健康保険条例の一部を改正する条例

保険料率等を改定するもの

足立区介護保険条例の一部を改正する条例

保険料率等を改定するほか、規定を整備するもの

(日本共産党足立区議団より反対の立場から討論あり)

足立区道路占用料等徴収条例の一部を改正する条例

道路法施行令の改正に伴い、規定を整備するもの

足立区子ども未来創造館条例

子ども科学館を子ども未来創造館として設置するもの

(撤回の上、再提出)

その他の議案

東京都後期高齢者医療広域連合の規約変更について

後期高齢者医療の保険料軽減に係る経費を各区市町村が支弁するために、規約の一部を変更するもの

足立区と葛飾区の行政境界に係る道路の管理に関する協定の変更について

「足立区と葛飾区の行政境界

◆第32回オリンピック競技大会並びに第16回パラリンピック競技大会の東京招致に関する決議

議員提出議案 可決したもの



界に係る道路の管理に関する協定に路線の追加を行うもの
 教師用指導書の購入について
 契約の内容 中学校教師用指導書を購入する
 契約方法 特命随意契約
 契約金額 3千152万3千520円
 相手方 東京都東部教科書供給株式会社
 ◆東武伊勢崎線(竹ノ塚駅付近)連続立体交差事業に関する施行協定
 協定金額 (概算) 543億8千200万円
 相手方 東武鉄道株式会社
 工期 協定締結日から平成33年3月31日まで

◆「こころの健康を守り推進する基本法(仮称)」の法制化を求める意見書提出に関する陳情

採択したもの

◆「こころの健康を守り推進する基本法(仮称)」の法制化を求める意見書
 (決議・意見書は8面に掲載)
 ◆父家庭支援策の拡充を求める意見書
 ◆足立区生業資金貸付条例
 廃止された足立区生業資金貸付条例を復活・拡充することにより、一般金融機関から融資を受けることが困難な区民に対し必要な生業資金を貸し付け、その生活の安定と福祉増進を図るもの
 ◆足立区住宅改良助成条例の一部を改正する条例
 区民が区内施工業者により環境問題や高齢化及び住宅の老朽化など、区が直面する社会的課題に対応するために行う住宅改良費用の一部を助成し、もって区民の住生活の向上及び環境負荷の低減に資するとともに、地域経済の活性化を図るもの
 (以上2議案について、日本共産党足立区議団より否決に反対の立場から討論あり)

(日本共産党足立区議団より反対の立場から討論あり)
 ◆「こころの健康を守り推進する基本法(仮称)」の法制化を求める意見書
 ◆父家庭支援策の拡充を求める意見書
 ◆足立区生業資金貸付条例
 廃止された足立区生業資金貸付条例を復活・拡充することにより、一般金融機関から融資を受けることが困難な区民に対し必要な生業資金を貸し付け、その生活の安定と福祉増進を図るもの
 ◆足立区住宅改良助成条例の一部を改正する条例
 区民が区内施工業者により環境問題や高齢化及び住宅の老朽化など、区が直面する社会的課題に対応するために行う住宅改良費用の一部を助成し、もって区民の住生活の向上及び環境負荷の低減に資するとともに、地域経済の活性化を図るもの
 (以上2議案について、日本共産党足立区議団より否決に反対の立場から討論あり)

◆再度の弘道二丁目大型墓地建設計画に反対する請願

採択したもの

◆「こころの健康を守り推進する基本法(仮称)」の法制化を求める意見書提出に関する陳情
 ◆再度の弘道二丁目大型墓地建設計画に反対する請願

◆介護保険に関する陳情
 陳情の趣旨に沿いかねる
 ◆「生きがい奨励金」の削減に反対する請願
 請願の趣旨に沿いかねる
 ◆宮城県女川町の震災瓦礫処理に関する陳情
 陳情の趣旨に沿いかねる
 ◆足立清掃工場での宮城県女川町災害廃棄物焼却に関する陳情
 陳情の趣旨に沿いかねる
 ◆永年在職議員を表彰
 足立区議会は、2月22日の本会議において、足立区議会議員として永年在職および区政の伸展に貢献された功勞に対し、左記の2名を表彰しました。
 足立区議会展彰(在職25年)



当選7回、議会選出監査委員、議会推薦農業委員、総務委員会委員長、産業環境委員会委員長、厚生委員会委員長、予算特別委員会委員長等を歴任



当選7回、議会選出監査委員、議会推薦農業委員、総務委員会委員長、産業環境委員会委員長、厚生委員会委員長、予算特別委員会委員長等を歴任

委員会活動

| 委員会名 | 日程 | 主な内容 | | | |
|-------------------|----------|----------|----|----|-----------------------------------|
| | | 審査 議案 | 請願 | 陳情 | 報告 その他 |
| 総務委員会 | 1月16日(月) | | | 4 | 5 |
| | 2月27日(月) | 9 | | 5 | 9 |
| 区民委員会 | 1月17日(火) | | | 2 | 1 |
| | 2月28日(火) | 5 | 2 | 2 | 9 |
| 産業環境委員会 | 1月17日(火) | | | | 5 |
| | 3月12日(月) | | | 2 | 7 |
| 厚生委員会 | 1月18日(水) | | | 3 | 2 |
| | 3月13日(火) | 19 | 1 | 3 | 10 |
| 建設委員会 | 1月19日(木) | | | | 8 |
| | 3月14日(水) | 8 | | | 12 |
| 文教委員会 | 3月27日(火) | 1 | | | |
| | 1月19日(木) | | | 3 | 1 |
| 議会運営委員会 | 3月14日(水) | 2 | | 4 | 9 |
| | 3月27日(火) | 1 | | | |
| | 1月24日(火) | | | | 第1回定例会について |
| | 2月21日(火) | | | | |
| 2月29日(水) | | | | | |
| 3月26日(月) | | | 1 | | |
| 交通網・都市基盤整備調査特別委員会 | 1月20日(金) | | | | 4 |
| | 3月15日(木) | | | | 4 |
| 子ども施策調査特別委員会 | 1月20日(金) | | | 2 | 5 |
| | 3月15日(木) | | | 2 | 7 |
| 災害・オウム対策調査特別委員会 | 1月23日(月) | | | 5 | 2 |
| | 3月21日(水) | | | 6 | 3 |
| 地域コミュニティ対策調査特別委員会 | 1月23日(月) | | | | 地域活動団体等の連携及び高齢者の独居対策等に関する調査研究について |
| | 3月22日(木) | | | | |

意見の分かれた案件 (議案47件中17件)

| 件名 | 会派名及び結果 | | | | | 結果 |
|-----------------------------------------------------|----------------|--------------|----------------|--------------|----------------|------|
| | 足立区議会 自由民主党 | 足立区議会 公明党 | 日本共産党 足立区議団 | 足立区議会 民主党 | 足立区議会 みんなの党 | |
| 平成23年度足立区一般会計補正予算(第4号) | ○ | ○ | × | ○ | ○ | 原案可決 |
| 平成23年度足立区国民健康保険特別会計補正予算(第3号) | ○ | ○ | × | ○ | ○ | 原案可決 |
| 平成24年度足立区一般会計予算 | ○ | ○ | × | ○ | ○ | 原案可決 |
| 平成24年度足立区国民健康保険特別会計予算 | ○ | ○ | × | ○ | ○ | 原案可決 |
| 平成24年度足立区介護保険特別会計予算 | ○ | ○ | × | ○ | ○ | 原案可決 |
| 平成24年度足立区後期高齢者医療特別会計予算 | ○ | ○ | × | ○ | ○ | 原案可決 |
| 足立区組織条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | × | ○ | ○ | 原案可決 |
| 足立区職員定数条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | × | ○ | ○ | 原案可決 |
| 足立区生きがい奨励金支給に関する条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | × | ○ | ○ | 原案可決 |
| 足立区墓地等の経営許可等に関する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | 原案可決 |
| 足立区における保育の実施等に関する条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | × | ○ | ○ | 原案可決 |
| 足立区国民健康保険条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | × | ○ | ○ | 原案可決 |
| 足立区介護保険条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | × | ○ | ○ | 原案可決 |
| 足立区子ども未来創造館条例 | ○ | ○ | × | ○ | ○ | 原案可決 |
| 足立区生業資金貸付条例(議員提出議案) | × | × | ○ | × | × | 原案否決 |
| 足立区住宅改良助成条例の一部を改正する条例(議員提出議案) | × | × | ○ | × | ○ | 原案否決 |
| 第32回オリンピック競技大会並びに第16回パラリンピック競技大会の東京招致に関する決議(議員提出議案) | ○ | ○ | × | ○ | ○ | 原案可決 |

平成23年度 足立区議会情報公開制度の実施状況

| 請求件数 | 取下件数 | 開示 | 一部開示 | 非開示 | 不存在 | 存否非開示 | 閲覧 | 視聴 | 写し | 開示率 |
|------|------|----|------|-----|-----|-------|----|----|----|------|
| 2 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 100% |

※平成23年4月1日から平成24年3月31日

特別区道路線の認定

| 所在地 | 幅員(m) | 延長(m) |
|------------|-------|-------|
| 西新井本町一丁目地内 | 4.50 | 48.71 |

区域外道路の認定

| 所在地 | 幅員(m) | 延長(m) |
|-------------------|-------|-------|
| 西綾瀬一丁目・葛飾区小菅一丁目地内 | 6.80 | 11.53 |

教育委員会委員の任命に同意
 教育委員会委員について、区長から任命同意が求められ、議会はこれに同意しました。
 同 小川 正人
 教育委員会委員 花岡 惠三
 監査委員の選任に同意
 監査委員について、区長から選任同意が求められ、議会はこれに同意しました。
 監査委員 荒井喜一郎

足立区議会 自由民主党



討論者
隆易ちほつ
委員

本予算案は、近藤区政2期目における最初の予算編成である。極めて厳しい財政状況下でも、区制80周年の節目の年に、時代の変化に対応しつつ、将来も持続可能な自治体であり続けるため、第2次重点プロジェクト推進戦略に基づき推進してきた「子どもくらし」「まちづくり」「経営改革」の4つの柱をさらに発展・充実させることで、未来を担う子どもたち、健康で安心感のある暮らしづくり、区民が愛し誇れるまちづくりを中心に編成されたと感じている。

国も東京都も急激な税収減に直面する等、区財政を取り巻く状況が一段と厳しさを増す中、「事業の選択と集中」を行い、メリハリのある予算となった。しかし、2年連続で200億円を超える基金取り崩しの対応等、区政運営はさらに厳しさが増してくるもの

と想定される。今後は、事務事業の徹底的な見直しや受益者負担の適正化、職員に対する危機意識・コスト意識の徹底に本気になつて取り組まねばならない。

そこで、本委員会の質疑の中で、災害対策や放射能対策等の安心・安全対策の充実、区制80周年事業の推進等、福祉分野では、生活保護受給者の自立支援と適正化や、待機児童対策の拡充等、まちづくり分野では、東京電機大学の開学を踏まえた北千住駅東口周辺や西新井駅周辺のまちづくり、都市計画道路の早期整備等、我が党委員から様々な指摘があった。さらに、教育関係では、新学習指導要領に沿った教科書採択や育英資金の成績要件の緩和等、多くの質疑があった。

こうした事業の推進のためにも、一層の歳入確保に全力で取り組んでいただきたい。最後に、我が党委員の指摘事項及び提案等を尊重し、その実現に努力されることを望むとともに、予算執行においても、議会との信頼関係を損なうことがないように強く求める。

足立区議会 公明党



討論者
岡安たかし
委員

平成24年度予算は、時代の変化に対応しつつ、将来も持続可能な自治体であり続けるための財政運営に配慮し、一般会計の総額は2千436億円で前年度より102億円、4%の減額となった。

依然として民生費が歳出の48%と半分近くを占め、歳入の4割近くを都区財調交付金に頼る当区は、引き続き、事務事業の効率化や費用対効果の少ない事業の見直し、

税外収入を含む自主財源の安定確保のための不断の努力が求められる。今後ムダをなくし、地域力を強化しながら災害への備えや、長寿高齢化社会を見据えた区民ニーズに柔軟に対応できるよう、身の丈に合った行財政運営の計画的な推進が重要である。子ども施策では、待機児解消に向けた保育施設のさらなる整備、図書館を学びの場

として開放等。くらし施策では、高齢者見守り支援のモデル事業の実施、介護予防の拡充等を目指すとしている。地域の縁をつなぐ各種事業の充実を期待し、地域のちから推進部が原動力となつて強力に推進されることを求める。まちづくり施策では、竹ノ塚駅付近鉄道高架化の推進、老朽家屋対策の積極的な取り組み等が盛り込まれた。なお、ヒブ・子宮頸がん・高齢者肺炎球菌等、各種ワクチン接種費用助成は、我が党の要望に叶つたものであり、評価する。本年は区制80周年、東京電機大学の開学の飛躍の年で、これを好機ととらえ、今後の区政発展につなげるのが大切である。今後、厳しい財政環境の中でサービスの質を維持し、財務4表の活用等で行政コストの見える化を図り、将来に向け責任ある財政運営の取り組みを講じていただきたい。最後に、わが党が細部にわたり指摘した提案等を、新年度予算の執行や今後の区政運営に反映させるよう要望する。

特別 予算委員会の 討論(要旨)

| 区分 | 足立区議会 自由民主党 | | 足立区議会 公明党 | | 日本共産党 足立区議団 | | 足立区議会 民主党 | | 足立区議会 みんなの党 | |
|-------------|----------------|-----|--------------|-----|----------------|-----|--------------|-----|----------------|-----|
| | 原案 | 修正案 | 原案 | 修正案 | 原案 | 修正案 | 原案 | 修正案 | 原案 | 修正案 |
| 一般会計 | 賛成 | 反対 | 賛成 | 反対 | 反対 | 賛成 | 賛成 | 反対 | 賛成 | 反対 |
| 国民健康保険特別会計 | 賛成 | — | 賛成 | — | 反対 | — | 賛成 | — | 賛成 | — |
| 介護保険特別会計 | 賛成 | 反対 | 賛成 | 反対 | 反対 | 賛成 | 賛成 | 反対 | 賛成 | 反対 |
| 後期高齢者医療特別会計 | 賛成 | — | 賛成 | — | 反対 | — | 賛成 | — | 賛成 | — |

日本共産党 足立区議団



討論者
昭彦はた
委員

今予算は、震災の教訓を生かした新しい区政の第一歩となるべきものの、その姿勢に乏しいうえに逆行し、賛成できない。区は、原発ゼロどころか実質再稼働をすべきというに等しい立場を表明した。また、重点施策の予算の内18%が防災対策と言いつつ、道路整備等、既存の事業を膨らませたにすぎず、新規事業は一つもない。「明日のために 時代の変化に挑む!」と言うが、生きがい奨励金の削減、学校開

足立区議会 民主党



討論者
鈴木あきら
委員

平成24年度予算は、景気悪化に伴う区税収入の減少や扶助費の増加等、取り巻く環境が厳しくても、子ども・くらし・まちづくりのバランスを重視して編成した努力は、強く伝わり、一定の評価をするものである。しかし、今回の予算を『明日のために 時代の変化に挑む!』とした割には、大胆さに欠けていたのではないか。今後の人口構造の変化や社会保障費の急激な増加に対応するためには、もっとスピード感をもつ

足立区議会 みんなの党



討論者
浅古みつさ
委員

平成24年度予算は、一般会計にて4.0%、102億円の減額となったが、この緊縮予算をマイナスに捉えず、さらなる事務事業の見直しや、プライオリティの再構築等、今こそ行政マンの真価を発揮する時でもある。行革先進自治体である足立区この厳しさを考えると、経済不況のみならず、現行制度での基礎自治体としての限界が現れたと感じている。この状況の中で、財調基金等の様々な工夫を凝らして今予算を組んで

放の有料化、生業資金の廃止等、区民施策の切り捨てと負担増を進め重大である。地域の力、絆と言うが、男女共同参画組織の縮小や、リサイクルセンターの運営を区民から株式会社に変更する等、絆を断ち切るやり方に怒りが広がっている。千寿第五小学校の統廃合は保護者だけでなく地域全体も反対し、署名は1万1千756名に達し、地域の防災拠点をなくし、絆も壊す行為そのものである。

「足立はばたき塾」は学力優秀な中学3年生100人を選抜し、一人38万円をかけ超進学校に進学させるもので、教育の機会均等の原則から見ても重大な問題がある。

また、今回の審議でも指摘したように、区職員は民間に比べて、発想力・コスト意識・スピード感に不満が残ると言わざるを得ない。従来の役所という考え方を大きく変えて強く挑戦すると同時に、優先順位をしっかりと考えた上で、時代に対応していくことを求める。

また、今回の審議でも指摘したように、財源があれば評価できる事業も一部にあるが、全体的にバラマキと捉えられる施策がきたことは評価に値する。

本委員会で我が党が提案した、北海道美唄市の高齢者の医療費削減に関するものは、企業、自治体等から大きな関心を集め、当区も早急に研究に取り組んでいただきたい。また、教育の新規施策である足立はばたき塾は、家庭の経済状況等を踏まえ、向上心の高い子どもに対し、将来のさらなる学力成長の機会を広げるものであり、当区から将来多くの優秀な人材を育てていくという意思が込められた施策と期待する。さらに、介護福祉施策の安定的遂行には、介護保険料改定は必要不可欠であり、増え続ける介護、医療予算に歯止めをかけるに

区は財政危機をことさら煽っているが、856億円の基金額は23区第2位であり、区民を支える余力は十分にある。わが党は、しっかりと財政と予算の分析の上に予算修正案を提出した。住宅リフォーム助成の拡充で地域循環型経済への転換を図り、子育て応援や介護の負担・不安を軽減させる施策を充実させる。生業資金や鹿沼野外レクリエーションセンター、生きがい奨励金、学校開放無料化等の復活で、くらしを応援するものとなっている。

国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療の各特別会計については、いずれも負担増・値上げであり、認めることはできない。多く、我々とは考えが異なるので反対する。最後に、本委員会で指摘した、成績下位生徒への対策の充実、ICT教育の強化、中高生の居場所づくりの継続、子ども議会開催、中川土づくりの里の早期撤退等について強く要望し、また、区職員には、足立への愛着心、足立の良さの情報収集とPR方法、発想力やコスト意識等の向上に努力することを求める。さらに、男女共同参画に対する区の姿勢の後退については、実態や施策そのものが後退しないよう、今までの以上に私たちは厳しく目を光らせていく。

以上、私たちの提案、要望を十分に考慮しながら予算を執行するよう求める。は、さらに予防に力を入れ、対象者数を抑制しなければならぬ。そうした根本的な考え方により一層目を向けていただきたい。地方分権一括法に基づき、多くの権限と責任が区に課せられた。15年も前に行った50名程度の需要調査の記憶を根拠に、自治体の責任を回避するような条例案を提出するようでは、将来はおろか現在を見据えた引継ぎとは言えない。責任権者である自覚を強く持ち、改めて基礎自治体としてのありべき姿を考える機会にいただきたい。

最後に、本委員会での我が党からの提案は、今後の区が行う政策会議等にて、取捨選択の対象となることを求める。

